

みずほCustomer Desk Report 2024/01/31号 (As of 2024/01/30)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.38
TKY 9:00AM	147.48	1.0835	159.60	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	147.92	1.0858	160.32	1.2717	0.6615
SYD-NY Low	147.10	1.0812	159.23	1.2721	0.6625
NY 5:00 PM	147.62	1.0845	160.08	1.2641	0.6576
	147.62	1.0845	160.08	1.2701	0.6603
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	38,467.31	▲ 133.86	日本2年債	0.0500%	0.0000%
NASDAQ	15,509.90	▲ 118.15	日本10年債	0.7100%	▲ 0.0100%
S&P	4,924.97	▲ 2.96	米国2年債	4.3376%	0.0175%
日経平均	36,065.86	▲ 38.92	米国5年債	3.9722%	▲ 0.0131%
TOPIX	2,526.93	▲ 2.55	米国10年債	4.0348%	▲ 0.0402%
ソコ日経先物	35,960.00	▲ 200.00	独10年債	2.2720%	0.0340%
ロンドンFT	7,666.31	▲ 33.57	英10年債	3.8975%	0.0240%
DAX	16,972.34	▲ 30.63	豪10年債	4.1610%	▲ 0.0610%
ハンセン指数	15,703.45	▲ 373.79	USDJPY 1M Vol	8.41%	▲ 0.01%
上海総合	2,830.53	▲ 52.83	USDJPY 3M Vol	9.43%	0.35%
NY金	2,050.90	▲ 25.50	USDJPY 6M Vol	9.38%	0.09%
WTI	77.82	▲ 1.04	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.15%	Yen Call Over
CRB指数	274.00	▲ 3.12	EURJPY 3M Vol	9.03%	0.38%
ドルインデックス	103.40	▲ 0.21	EURJPY 6M Vol	9.25%	0.16%

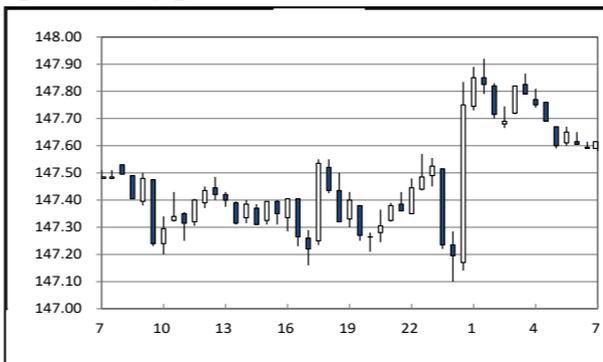
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月30日	09:30	豪 小売売上高(前月比)	12月 -2.7%	-1.7%
	18:00	独 GDP(前期比)・速報	4Q -0.3%	-0.3%
	19:00	欧 消費者信頼感・確報	1月 -16.1	-
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)	4Q A 0.0%/0.1%	-0.1%/0.1%
1月31日	00:00	米 コンファレンス・消費者信頼感	1月 114.8	114.8
	00:00	米 JOLT求人	12月 9,026K	8,750K

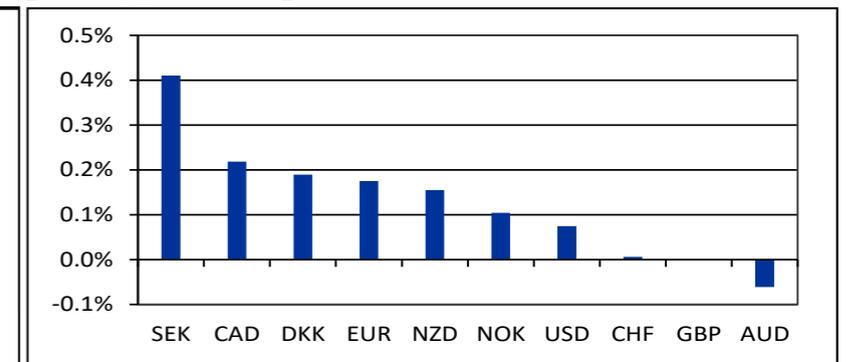
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月31日	08:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-
	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	12月 2.5%/0.2%	-0.9%/-1.4%
	10:30	中 製造業/非製造業PMI	1月 49.3/50.6	49.0/50.4
	16:45	仏 CPI(前月比/前年比)・速報	1月 0.0%/3.3%	0.1%/3.7%
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	1月 0.1%/3.0%	0.1%/3.7%
	22:15	米 ADP雇用統計	1月 150k	164k
2月1日	04:00	米 FOMC政策金利(上限)	31-Jan 5.50%	5.50%
	04:00	米 FOMC政策金利(下限)	31-Jan 5.25%	5.25%
	04:30	米 パウエルFRB議長 会見	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.00-148.00	1.0800-1.0900	159.50-160.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の為替相場は方向感が欠如していた。FRBに関して市場が予想するほど利下げを急がないとの見方もあり、短期金融市場ではFRBが3月に利下げを開始する可能性の折り込み度合いを40%程度に低下させた。為替市場においてはFOMCを前に明確な方向性を見出せないマーケットが継続した。パウエルFRB議長が3月に向けてどのような発言をするのかが注目されている。更に、本日は月末ということもあり積極的にポジションを傾けていく市場参加者は多くないだろう。月末の実需需給やファンドマネージャーによるポートフォリオリバランスぐらいが市場を動かす要因であろうが、大きな動きは期待できそうもない。

東京	東京時間のドル円は147.48レベルでオープン。前日の米財務省のヘッドラインの影響もあってか、上値は重いながらも、翌日にFOMCの政策発表を控えた様子見ムードも強く、147円台前半で方向感を欠く展開。日中を通して28銭程度の狭いレンジ内の値動きに留まり、結局147.35レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.35レベルでオープン。ドル円は方向感の出にくい展開。ユーロ圏第4四半期GDP速報値が前期比ゼロ成長となりリセッション入り回避したことユーロ円が上昇。それにつれてドル円も若干買われ147.44レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台半ばでスタート。手掛かり材料が見当たらない中、147.40付近を挟んだ狭い値動きが続き、147.44レベルでNYオープン。朝方は米金利の低下が重しとなり、147.10まで下落。しかし、続いて発表された米1月コンファレンス・消費者信頼感指数と米12月JOLT求人件数が予想を上回った結果を受け、ドル買いが優勢となり、147.92まで上伸。午後は米金利の上昇一服を背景に、147.60付近まで反落。その後米FOMCの結果発表を翌日に控え、徐々に動意乏しくなり、147.62レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台前半でスタート。じり安での推移が続き、1.0812まで下落。その後発表されたユーロ圏GDPが予想より良好で、リセッション回避の事が好感され、ユーロが買い戻され、1.0848レベルでNYオープン。朝方は1.0858まで上昇する場面もあったが、米金利上昇に伴い失速し1.0830付近まで反落。午後はラガルド・ECB総裁が「インフレについてはまだ到達していない」との認識を示すも、上値追いは限定的で、その後1.0845レベルクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 加藤・西